

作成日： 2026年8月20日（第1版）

【 臨床研究に関する情報の公開 】

当院に入院された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願いについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	2種類の栄養評価ツールの関連性に係る実態調査研究
2. 研究の対象者	実施承認後から2026年12月までにおいて、当院に入院中の18歳以上のすべての患者さま
3. 研究期間	承認後 ～ 2026年12月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施場所：関西電力病院 研究責任者：疾患栄養治療部 真壁昇 共同研究者：疾患栄養治療部 茂山翔太、高橋拓也、森口由香、國枝加誉、高橋正弥、小倉舞衣、右谷怜奈、岸本有莉、田中大也 内分泌代謝・ダイアベティスセンター 山崎裕自 共同研究機関：関西電力医学研究所 桑田仁司、手稲溪仁会病院 田中智美、竹田綜合病院 遠藤美織、済生会横浜市東部病院 工藤雄洋、神戸大学医学部附属病院 田渕聡子、近森会近森病院 宮島功、都城市郡医師会病院 温谷恭幸 資料・情報提供機関：関西電力病院、手稲溪仁会病院、竹田綜合病院、済生会横浜市東部病院、神戸大学医学部附属病院、近森会近森病院、都城市郡医師会病院
5. 本研究の意義・目的	低栄養状態は治療効果の減弱につながるため、早期に栄養状態を評価し病態に応じた栄養支援を実施することが重要です。しかし、未だ栄養状態の評価指標として確立されたものではありません。本研究では、栄養状態の評価を行う2種類の指標を用いてそれぞれ栄養評価を行い、両者の特徴を比較することにより、より実践的で妥当性のある栄養評価指標を検証し、急性期病棟に入院中の患者さまの栄養状態の維持・改善を目指した栄養介入のあり方について検討することを目的としています。
6. 研究の方法	当院に入院中であり18歳以上の患者さまを対象として、入院中に異なる2つの指標を用いてそれぞれ栄養状態の評価を行い、栄養状態の評価指標の違いについて検証します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	身長、体重、Body Mass Index (BMI)、入院時病名、既往・併存症、入院前6ヵ月間の体重減少率、筋肉量（下腿周囲長）、身体診察による筋肉喪失（側頭筋、僧帽筋、三角筋、背側骨間筋）、入院前の食事摂取量、血液検査による炎症所見（白血球数、総リンパ球数、C-reactive protein）、下痢など消化器症状の有無、を評価します。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	各種データの抽出は外部と遮断された電子カルテ端末を用います。抽出後のデータは同じく電子カルテ端末上のパスワード管理されたフォルダ内に研究公表後5年間保管し、保管期間を終えるとデータ消去します。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 栄養管理室 真壁 昇
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒006-8555 北海道札幌市手稲区前田1条12丁目1-40 手稲溪仁会病院 栄養部 田中 智美 電話：011-681-8111（代表）